

**2014年12月改訂 (第4版)
*2008年 1月改訂

日本標準商品分類番号 873319	
塩化ナトリウム注1モル	
承認番号	21700AMZ00074
薬価収載	2005年 6月
販売開始	1999年12月

貯 法：室温保存
使用期限：容器，外箱に表示
注 意：取扱い上の注意の項参照

補正用1モル 塩化ナトリウム液

処方箋医薬品^{注)}

塩化ナトリウム注1モル シリンジ[テルモ]

Sodium Chloride Injection 1mol

【組成・性状】

〈成分・分量〉

		1シリンジ 20mL中
有効成分	塩化ナトリウム	1.169g

〈電解質量〉

		1シリンジ 20mL中
電解質	Na ⁺ Cl ⁻	20mEq 20mEq

〈性状〉

性状	無色澄明の液で，塩味がある。
pH	5.0～7.5
浸透圧比	約7 (生理食塩液に対する比)

【効能又は効果】

電解質補液の電解質補正

【用法及び用量】

電解質補液の電解質の補正として，体内の水分，電解質の不足に応じて電解質補液に添加して用いる。

(「操作方法」の項参照)

【使用上の注意】

1. 慎重投与 (次の患者には慎重に投与すること)

(1) 心臓，循環器系機能障害のある患者

[症状が悪化するおそれがある.]

(2) 腎障害のある患者

[症状が悪化するおそれがある.]

2. 重要な基本的注意

本剤は電解質の補正用製剤であるため，必ず希釈して使用する。

3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため，発現頻度については文献等を参考にした。

	頻度不明
大量投与による障害	高ナトリウム血症 うっ血性心不全 浮腫

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

5. 適用上の注意

(1) 適用

本剤は，透析回路等の体外循環回路の高圧条件下で使用しないこと。

[高圧条件下では押子を斜めに押すおそれがある。押子を斜めに押すとガスケットが変形し薬液及び血液がガスケットの部分から漏出するおそれがある.]

(2) 調製方法

本剤は使用に際して，よく混合されるよう注意すること。

(3) 調製時

ブリスター包装開封後は速やかに使用すること。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：塩化ナトリウム

分子式：NaCl

分子量：58.44

性 状：無色又は白色の結晶又は結晶性の粉末である。水に溶けやすく，エタノール(99.5)にほとんど溶けない。

【取扱い上の注意】

- 本剤はシリンジポンプでは使用しないこと。
- ブリスター包装は使用時まで開封しないこと。
- ブリスター包装は開封口から静かに開けること。
- ブリスター包装から取り出す際，押子を持って無理に引き出さないこと。ガスケットが変形し，薬液が漏出するおそれがある。
- シリンジが破損するおそれがあるため，強い衝撃を避けること。
- シリンジに破損等の異常が認められるときは使用しないこと。
- シリンジ先端部のシールがはがれているときは使用しないこと。
- 内容液が漏れている場合や，内容液に混濁や浮遊物等の異常が認められるときは使用しないこと。
- 開封後の使用は1回限りとし，使用後の残液は容器とともに速やかに廃棄すること。
- 注入前後ともに押子を引かないこと。
- シリンジ及びホルダーの再滅菌・再使用はしないこと。
- 注射針等は針刺しに留意し，廃棄すること。

**〈安定性試験〉

長期保存試験(室温，37カ月)の結果，通常の市場流通下において3年間安定であることが確認された¹⁾。

【包装】

20mL×10本

*【主要文献】

1) テルモ株式会社：安定性試験 (社内資料)

*【文献請求先】

主要文献に記載の社内資料につきましても下記にご請求下さい。

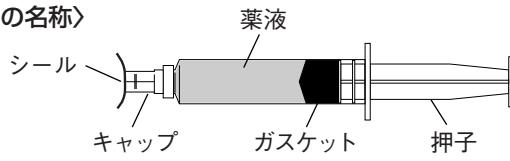
テルモ株式会社 コールセンター
〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目44番1号
TEL 0120-12-8195

注) 処方箋医薬品：注意一医師等の処方箋により使用すること

【操作方法】

(本剤を輸液剤に添加する操作方法として、ホルダーを使用する方法と注射針を使用する方法がある。)

〈各部の名称〉

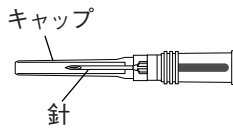


プレフィルドシリンジ

1. ホルダーを使用して輸液剤に混注する場合

ホルダー (プレフィルドシリンジホルダー：
医療機器届出番号13B1X00101000006)

〈各部の名称〉



1

ホルダーのキャップが針に触れないように、まっすぐ外す。

2

ホルダーの針を輸液剤の混注口にゆっくりと、まっすぐ穿刺する。

3

シリンジ先端部のシールをはがし、ホルダーに嵌合させる。

注意：注射針等の使用にあたり、針刺しに留意すること。

4

薬液を注入する。

5

薬液注入後、シリンジ、ホルダーの順に外す。

**2. 注射針を使用して輸液剤に混注する場合

1

キャップを矢印の方向に回して外す。

2

シリンジ先端部に直接手が触れないように注意し、注射針を接続する。

3

注射針を輸液剤の混注口にゆっくりと、まっすぐ穿刺し、薬液を注入する。

4

薬液注入後、シリンジを注射針とともに外す。